

第2期（平成25年～29年）

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合
地球温暖化対策実行計画

平成25年 3月

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合

目 次

第1章 計画の基本的事項	1
1 計画策定の背景と目的	1
2 計画の期間	1
3 計画の対象範囲	1
第2章 計画の目標	3
1 温室効果ガス排出量の算出方法	3
2 活動の種類と温室効果ガス	3
3 排出係数	3
4 地球温暖化係数	5
5 温室効果ガスの排出状況等	6
6 削減目標	10
第3章 計画の取り組み内容	11
1 直接的な取り組み<省エネルギーの推進>	11
2 間接的な取り組み<省資源・リサイクルの推進>	12
第4章 計画の推進体制	14
1 進行管理体制	14
2 各職の役割等	14
3 職員への周知、意識啓発	15
4 実施状況の点検・評価	15
5 実行計画の策定(変更)及び実施状況についての公表	15
資料編	
資料1 平成23年度温室効果ガス排出に係る原因活動別活動量	16
資料2 平成23年度温室効果ガス排出量計算書	17

第1章 計画の基本的事項

1 計画策定の背景と目的

本計画は、『地球温暖化対策の推進に関する法律』第20条の3に定める「地方公共団体実行計画」に基づくものであり、平成24年度に第1期計画の計画年度が終了することから、平成25年度を計画の初年度とする新たな計画を策定し、多野藤岡広域市町村圏振興整備組合（以下「組合」という。）の事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出量抑制等の措置を行うことにより、地球温暖化対策の推進を図ることを目的とします。

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23年度を基準年度として、平成25年度から平成29年度までの5年間とします。

なお、計画の進行状況や技術の進歩、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

3 計画の対象範囲

(1) 対象とする温室効果ガス

本計画の対象とする温室効果ガスは、『地球温暖化対策の推進に関する法律』の第2条第3項に規定する6種類の物質のうち、4種類のガスを対象とします。

	温室効果ガス名	記号	排出源等	
1	二酸化炭素	CO ₂	電気、ガス等の使用のほか、化石燃料の燃焼に伴い排出されます。	対 象
2	メタン	CH ₄	廃棄物の焼却及び自動車の走行に伴い排出されます。	
3	一酸化二窒素	N ₂ O	廃棄物の焼却及び自動車の走行に伴い排出されます。	
4	ハイドロフルオロカーボン	HFC	冷蔵庫、エアコン、カーエアコン、消火器等の使用、廃棄、漏えい事故等に伴い排出されます。	
5	パーフルオロカーボン	PFC	主に冷媒として使用されていますが、平成11年5月以降PFCを封入している製品は、市販されていません。	対象外
6	六ふっ化硫黄	SF ₆	主に変圧器等に絶縁ガスとして使用され、電気機械器具の使用、廃棄等に伴い排出されます。	

(2) 対象とする事務・事業及び施設

本計画の対象となる範囲は、組合が行う事務・事業の全般、組合の所有する全ての施設を対象とします。

ただし、温室効果ガス排出量の数値的把握が困難な各種工事、点検等は、対象外とします。

調査（主管）部署		対 象 施 設
事 務 局	総 務 課	組合庁舎 臨海学校久寛荘
	環 境 衛 生 課	緑埜クリーンセンター 岡之郷クリーンセンター 岡之郷緑地公園
消 防 本 部 (消 防 署)	総 務 課	消防本部
	予 防 課	
	警 防 課	
	通 信 指 令 室	
	藤 岡 消 防 署	藤岡消防署
	吉 井 消 防 署	吉井消防署
	鬼石消防分署	鬼石消防分署
	奥多野消防分署	奥多野消防分署
	上野消防出張所	上野消防出張所

排出係数一覧表

二酸化炭素 (CO ₂)				
燃料の燃焼に伴う排出				
燃料種別	単位	排出係数	発熱量	備考
ガソリン		0.0183 kg-C/MJ	34.6MJ/	2.32 kg-CO ₂ 相当
灯油		0.0185 kg-C/MJ	36.7MJ/	2.49 kg-CO ₂ 相当
軽油		0.0187 kg-C/MJ	37.7MJ/	2.58 kg-CO ₂ 相当
A重油		0.0189 kg-C/MJ	39.1MJ/	2.71 kg-CO ₂ 相当
液化石油ガス (LPG)	kg	0.0161 kg-C/MJ	50.8 MJ/kg	3.00 kg-CO ₂ 相当
都市ガス	m ³	0.0136 kg-C/MJ	44.8MJ/m ³	2.23 kg-CO ₂ 相当
他人から供給された電気の使用に伴う排出				
種別	単位	排出係数	備考	
電気	kwh	0.375 kg-CO ₂ /kwh		
メタン (CH ₄)				
自動車の走行に伴う排出				
自動車種別		単位	排出係数	備考
ガソリン	普通・小型自動車	km	0.000010kg-CH ₄ /km	
	軽自動車	km	0.000010kg-CH ₄ /km	
	普通貨物車	km	0.000035kg-CH ₄ /km	
	小型貨物車	km	0.000015kg-CH ₄ /km	
	軽貨物車	km	0.000011kg-CH ₄ /km	
	特殊用途車	km	0.000035kg-CH ₄ /km	
ディーゼル	普通・小型自動車	km	0.000002kg-CH ₄ /km	
	普通貨物車	km	0.000015kg-CH ₄ /km	
	小型貨物車	km	0.0000076kg-CH ₄ /km	
	特殊用途車	km	0.000013kg-CH ₄ /km	
	バス	km	0.000017kg-CH ₄ /km	
し尿の処理に伴う排出				
種別	単位	排出係数	備考	
し尿処理施設	m ³	0.038kg-CH ₄ /m ³		
一般廃棄物の焼却に伴う排出				
種別	単位	排出係数	備考	
バッチ式燃焼式焼却施設	t	0.076kg-CH ₄ /t		

一酸化二窒素 (N ₂ O)				
自動車の走行に伴う排出				
	自動車種別	単位	排出係数	備考
ガソリン	普通・小型自動車	km	0.000029kg-N ₂ O/km	
	軽自動車	km	0.000022kg-N ₂ O/km	
	普通貨物車	km	0.000039kg-N ₂ O/km	
	小型貨物車	km	0.000026kg-N ₂ O/km	
	軽貨物車	km	0.000022kg-N ₂ O/km	
	特殊用途車	km	0.000035kg-N ₂ O/km	
ディーゼル	普通・小型自動車	km	0.000007kg-N ₂ O/km	
	普通貨物車	km	0.000014kg-N ₂ O/km	
	小型貨物車	km	0.000009kg-N ₂ O/km	
	特殊用途車	km	0.000025kg-N ₂ O/km	
	バス	km	0.000025kg-N ₂ O/km	
し尿の処理に伴う排出				
	種別	単位	排出係数	備考
	し尿処理施設	m ³	0.00093kg-N ₂ O/m ³	
一般廃棄物の焼却に伴う排出				
	種別	単位	排出係数	備考
	バッチ式燃焼式焼却施設	t	0.0724kg-N ₂ O/t	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)				
自動車用エアコンディショナー使用時の排出				
	種別	単位	排出係数	備考
	自動車用エアコン	台	0.010kg-HFC/台	

4 地球温暖化係数

地球温暖化係数は、二酸化炭素 (CO₂) の温暖化寄与率を 1 とした場合、同量の他の温室効果ガスの温暖化寄与度が何倍かを示す数値で、施行令第 4 条に規定されています。

地球温暖化係数については次の表のとおりです。

地球温暖化係数一覧

ガスの種類	地球温暖化係数
二酸化炭素 (CO ₂)	1
メタン (CH ₄)	21
一酸化二窒素 (N ₂ O)	310
ハイドロフルオロカーボン (HFC-134a)	1,300

ハイドロフルオロカーボン (HFC) については、自動車用エアコンを対象とした地球温暖化係数を掲載しています。

5 温室効果ガスの排出状況等

(1) 基準年度の原因活動別活動量

計画の基準年度（平成23年度）における温室効果ガス排出に係る原因活動の区分に応じた活動量は次の表のとおりです。

基準年度（平成23年度）の活動量

活動の種類		単位	基準年度の活動量	おもな用途（排出源）	
燃料使用量	ガソリン		40,964	自動車用燃料	
	灯油		6,620	暖房用燃料	
	軽油		18,073	自動車用燃料	
	A重油		254,735	焼却用燃料（し尿処理）	
	液化石油ガス（LPG）	kg	3,005	給湯、調理	
	都市ガス	m ³	8,981	調理、給湯、空調	
電気使用量		kwh	2,391,983	空調、照明、OA機器	
自動車の走行距離	ガソリン	普通・小型乗用車	km	21,571	各種業務
		軽乗用車	km	4,201	各種業務
		普通貨物車	km		
		小型貨物車	km	4,634	
		軽貨物車	km	4,870	各種業務
		特殊用途車	km	169,515	各種業務
	ディーゼル	普通・小型乗用車	km		
		普通貨物車	km	629	各種業務
		小型貨物車	km	86	各種業務
		特殊用途車	km	51,025	各種業務
バス		km	306	各種業務	
カーエアコンの使用台数（年間）		台	42		
し尿処理量		m ³	33,484	岡之郷クリーンセンター	
一般廃棄物焼却量		t	869	岡之郷クリーンセンター	

(2) 基準年度の温室効果ガス排出量

基準年度（平成23年度）に組合の事務・事業に伴い排出された温室効果ガスの総排出量は、2,273,342 kg-CO₂（CO₂換算排出量）でした。温室効果ガスの種類別排出量は、次の表に示すとおりです。

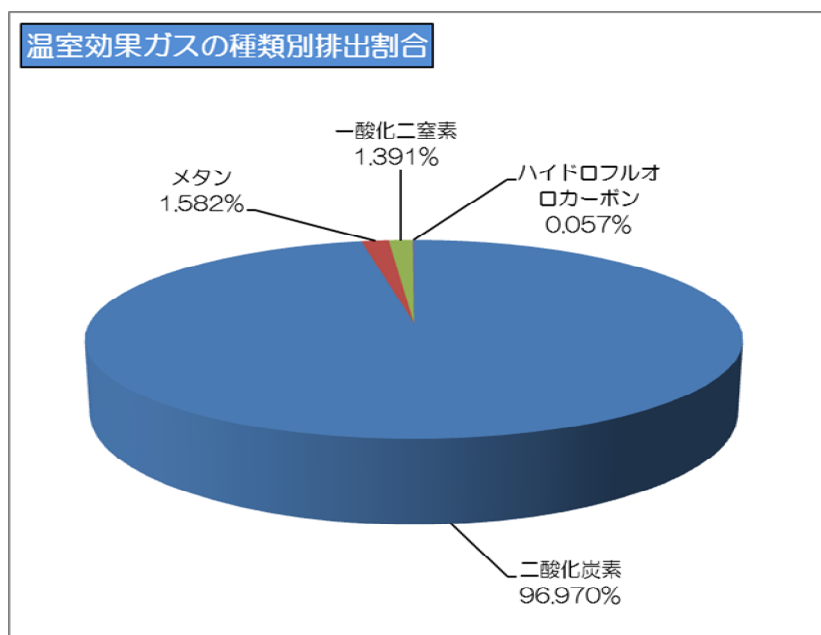
温室効果ガスの排出量としては、電気の使用に伴うものが最も多く、全体の58.4%（1,327,551 kg-CO₂）を占め、次いでA重油の使用が30.366%（690,332 kg-CO₂）と続いており、この2種類で全体の約9割を占めています。

温室効果ガス種類別排出量

項目		排出量	CO ₂ 換算排出量	構成比
二酸化炭素（CO₂）				
燃料の使用	ガソリン	95,036 kg-CO ₂	95,036 kg-CO ₂	4.180%
	灯油	16,484 kg-CO ₂	16,484 kg-CO ₂	0.725%
	軽油	47,351 kg-CO ₂	47,351 kg-CO ₂	2.083%
	A重油	690,332 kg-CO ₂	690,332 kg-CO ₂	30.366%
	液化石油ガス（LPG）	9,015 kg-CO ₂	9,015 kg-CO ₂	0.397%
	都市ガス	18,680 kg-CO ₂	18,680 kg-CO ₂	0.822%
	電気の使用	1,327,551 kg-CO ₂	1,327,551 kg-CO ₂	58.400%
計		2,204,449 kg-CO₂	2,204,449 kg-CO₂	96.970%
メタン（CH₄）				
自動車の走行		7 kg-CH ₄	147 kg-CO ₂	0.006%
し尿処理量		1,641 kg-CH ₄	34,461 kg-CO ₂	1.516%
一般廃棄物の焼却		65 kg-CH ₄	1,365 kg-CO ₂	0.060%
計		1,713 kg-CH₄	35,973 kg-CO₂	1.582%
一酸化二窒素（N₂O）				
自動車の走行		8 kg-N ₂ O	2,480 kg-CO ₂	0.109%
し尿処理量		32 kg-N ₂ O	9,920 kg-CO ₂	0.436%
一般廃棄物の焼却		62 kg-N ₂ O	19,220 kg-CO ₂	0.845%
計		102 kg-N₂O	31,620 kg-CO₂	1.391%
ハイドロフルオロカーボン（HFC）				
カーエアコンの使用		1 kg-HFC	1,300 kg-CO ₂	0.057%
計		1 kg-HFC	1,300 kg-CO₂	0.057%
合計			2,273,342 kg-CO₂	100.000%

各数値は端数処理しているため、合計などの計算は正確に一致しない場合があります。

これ以外の表も同様の場合があります。



(3) 基準年度における温室効果ガス以外の環境負荷状況

温室効果ガスの排出には直接つながりませんが、事業者・消費者として組合は、資源の利用などを通じて環境に様々な負荷を与えています。

水の効率的な利用、用紙使用量の削減は、二酸化炭素の吸収源である森林資源の保全につながります。

用紙使用量

用紙の使用量を厳密に把握することは困難であるため、本計画では、用紙使用量 = 用紙購入量としています。

基準年度（平成23年度）における用紙使用量は、358,650枚（A4換算）でした。なお、用紙使用量（購入量）の内訳は、次の表のとおりです。

用紙使用量（購入量）

（単位：枚）

品名	規格		使用枚数	使用枚数 (A4換算後)
	紙質	サイズ		
再生紙	古紙パルプ配合率 40%以上	A3	15,000	30,000
		A4	321,500	321,500
		B4	2,500	3,750
厚紙		A4	1,400	1,400
カラー用紙		A4	2,000	2,000
合計				358,650

上水道使用量（簡易水道含む）

基準年度（平成23年度）における上水道の総使用量は、7,093 m³でした。
 なお、上水道の使用状況（部署別）については、次の表のとおりです。

上水道使用量（部署別）

部 署	使用量	構成比
総務課	1,883 m ³	26.5%
組合庁舎	263 m ³	3.7%
臨海学校久寛荘	1,620 m ³	22.8%
環境衛生課	1,167 m ³	16.5%
緑埜クリーンセンター	553 m ³	7.8%
岡之郷クリーンセンター	431 m ³	6.1%
岡之郷緑地公園	183 m ³	2.6%
消防本部（消防署）	4,043 m ³	57.0%
消防本部・藤岡消防署	1,804 m ³	25.4%
吉井消防署	912 m ³	12.9%
新町消防分署	563 m ³	7.9%
鬼石消防分署	418 m ³	5.9%
奥多野消防分署	346 m ³	4.9%
上野消防出張所	m ³	%
合 計	7,093 m ³	100.0%

上野消防出張所庁舎は、水道使用量を含めた上野村役場との賃貸借契約のため、使用量は不明です。（上野村役場の使用量となります。）

6 削減目標

本計画では、平成23年度を基準年度として、地球温暖化対策のための温室効果ガス排出量の削減目標及び環境負荷低減のための目標を定めます。

(1) 温室効果ガスの総排出量の削減目標

総排出量の削減目標 (kg-CO ₂ /年)	平成23年度 (基準年)	平成29年度 (目標年)	削減目標
	2,273,342	2,222,495	2.2%以上の削減を図る

(2) 項目別の削減目標数値

数値は二酸化炭素換算値 (kg-CO₂) です。

項目		基準年度 (平成23年度)	目標年度 (平成29年度)	削減目標	削減量
燃料の使用	ガソリン	95,036 (40,964)	90,284 (38,916)	5%	4,752 (2,048)
	灯油	16,484 (6,620)	15,660 (6,289)	5%	824 (331)
	軽油	47,351 (18,073)	44,983 (17,169)	5%	2,368 (904)
	A重油	690,332 (254,735)	676,525 (249,640)	2%	13,807 (5,095)
	液化石油ガス(LPG)	9,015 (3,005 kg)	8,564 (2,855 kg)	5%	451 (150 kg)
	都市ガス	18,680 (8,981 m ³)	17,746 (8,532 m ³)	5%	934 (449 m ³)
電気の使用		1,327,551 (2,391,983kwh)	1,301,000 (2,344,143kwh)	2%	26,551 (47,840kwh)
自動車の走行		2,627 (256,837 km)	2,496 (243,995 km)	5%	131 (12,842 km)
カーエアコンの使用		1,300 (42台)	1,300 (42台)		同程度の維持に努める
し尿処理量		44,381 (33,484 m ³)	44,381 (33,484 m ³)		
一般廃棄物の焼却		20,585 (869t)	19,556 (826t)	5%	1,029 (43t)
計		2,273,342	2,222,495	2.2%	50,847
水道の使用量		7,093 m ³	6,738 m ³	5%	355 m ³
紙の使用量		358,650枚	340,717枚	5%	17,933枚

し尿処理量に関しては、総排出量に計上していますが、その処理量が事業者からの搬入量により決定するものであり、職員の努力による削減への取組みが直接及ばないため、削減目標値から除いています。また、電気使用量の約8割、A重油使用量の全てをし尿処理施設が占めているため、これらの項目についての削減目標値を低く設定していますが、可能な限り削減に努めます。

第3章 計画の取り組み内容

1 直接的な取り組み<省エネルギーの推進>

電気使用量の削減	
照明機器の使用	<ul style="list-style-type: none">・勤務時間中であっても、必要のない照明はこまめに消灯する。・昼休み時は、原則消灯する。・階段・廊下等の照明は、業務に支障のない範囲での消灯を実践する。・洗面所、給湯室等の照明は使用後の消灯を徹底する。・蛍光灯、反射板の清掃を定期的に行う。・窓際等の明るい場所では自然光を取り入れ、業務に支障のない範囲で消灯する。・勤務時間終了後の早期退庁を奨励する。
OA機器の使用	<ul style="list-style-type: none">・節電、省電力モードを活用する。・1時間以上使用しないときは電源を切る。
空調機器の使用	<ul style="list-style-type: none">・室内温度は、「冷房運転時 28℃」、「暖房運転時 20℃」を目安とする。・フィルター等の清掃を定期的に行う。
その他	<ul style="list-style-type: none">・省エネルギー型の機器及び設備の導入を推奨する。・使用頻度の低い電気機器は主電源を切ること努める。・ブラインドやカーテンを活用し、室温の適正化を図る。(グリーンカーテン等)・クールビズ・ウォームビズを推奨する。
車両燃料の使用量の削減	
車両の使用	<ul style="list-style-type: none">・空ぶかし、急発進、急加速等を抑制し、エコドライブを心がける。・駐停車時のアイドリングストップに努める。・不必要な荷物を載せて走らない。・近距離の用務は徒歩又は自転車を利用する。
車両の導入	<ul style="list-style-type: none">・車両の小型化、低公害車、低燃費車の導入を推進する。
車両の管理	<ul style="list-style-type: none">・定期点検及び整備を徹底する。・空気圧の点検等適正な状態で利用する。

ガス・石油・施設燃料使用量の削減	
ガス機器の使用 全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー・湯沸し器等の使用後は、種火を必ず消す。 ・給湯温度を必要以上に上げない。 ・空調機・ボイラー等の維持管理を適正に行い、冷暖房効率を適正に確保する。 ・室内温度は、「冷房運転時 28 」「暖房運転時 20 」を目安とする。
石油機器の使用 全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラーの効率的な運転に努める。 ・石油ストーブの適正使用に努める。(室温、使用時間、使用期間)
ガス・石油機器の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー効率の高い機器を導入する
施設燃料の使用 岡之郷クリーンセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却炉の運転管理を徹底し、効率よく運転する。 ・適正な汚泥管理により、焼却汚泥の削減を図る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ・ウォームビズを推奨する。

2 間接的な取り組み<省資源・リサイクルの推進>

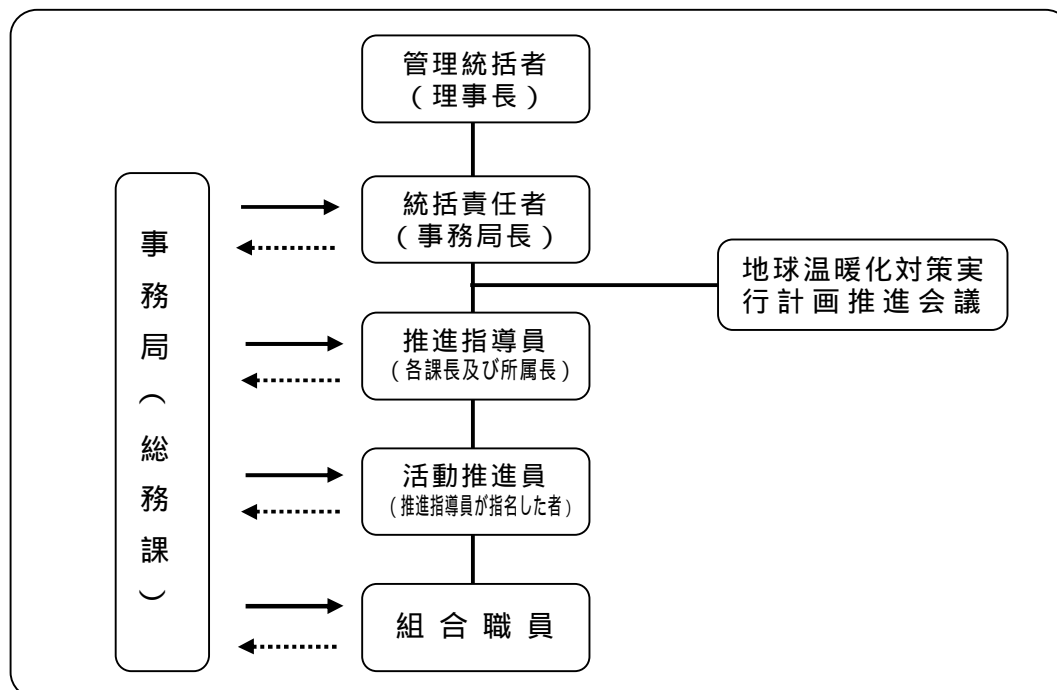
廃棄物の減量とリサイクルの推進	
物品等の購入	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷ができるだけ小さい製品を優先して購入する。 ・詰め替え可能な容器商品を購入する。 ・簡易包装商品を購入する。 ・古紙含有率の高い用紙をはじめとした、リサイクル製品を優先的に購入する。
ごみ排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別を行い、回収の徹底とリサイクルを推進する。 ・分別ごみ箱を適切に配置する。 ・プリンタに使用するトナーカートリッジは、原則リサイクルトナーとする。 ・OA機器、テレビ、冷蔵庫等の廃棄物は処理業者に依頼して適正に処理する。 ・封筒の再利用を行う。 ・ファイルやフォルダ の再利用を行う。 ・物品等の購入時は、納入業者に梱包材等の処理を依頼する。
紙の使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷は、なるべく両面印刷とする。 ・印刷物の作製部数は、必要最小限とする。

<ul style="list-style-type: none"> ・不要となった片面印刷済みの用紙を事務所用文書等に活用する。 ・庁内LANを積極的に活用し、ペーパーレス化を推進する。 ・文書作成途中の印刷確認は極力控える。 ・簡易な案内通知等は電子メールを活用し、紙の使用量を削減する。
<p>不用紙等のリサイクルの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収ボックスを活用した分別を徹底する。
<p>施設的设计、施工、管理における配慮</p>
<p>新エネルギーシステムの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな公共施設等に、自然エネルギーを利用した設備の導入を検討する。 ・空調・給湯の熱源として、太陽光エネルギーの有効活用を検討する。 ・自然光を取り入れる工夫をする。 ・断熱性の向上に配慮する。
<p>周辺や屋上の緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内、屋外及び岡之郷緑地公園における緑化を推進する。 ・有害物質の管理を徹底する。 ・植栽は、緑を良好に保つため適正な育成管理に努める。
<p>水の有効利用</p>
<p>水の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に節水に努める。 ・水圧、水量の調節を行う。 ・水漏れ点検を定期的に行う。 ・庁用車の洗車回数、洗車方法を見直し、節水に努める。 ・草花の水やりには雨水を活用する。
<p>施設设计・管理における水利用の合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水の利用を検討する。 ・雨水の地下浸透（透水性舗装・浸透枘等）を検討する。 ・水道水圧の調整を行う。 ・感知式自動洗浄装置（トイレ）、節水コマなど節水型製品を導入する。 ・女性用トイレに消音装置を設置する。
<p>職員の環境意識の向上</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車、徒歩での通勤を心がける。 ・近距離の移動は自転車・徒歩とする。 ・マイバックでの買い物を実践する。（少量の買い物はレジ袋を辞退する。） ・ごみの分別・削減、省エネを心がける。

第4章 計画の推進体制

1 進行管理体制

本組合における、地球温暖化対策実行計画の進行管理体制は下記の体制とする。



2 各職の役割等

実行計画の推進のために設置される「地球温暖化対策実行計画推進会議」(以下、「推進会議」という。)は、全部署の計画の取組状況に関する報告を受け、その結果を点検・評価し、必要に応じて計画の見直しを行い、公表する。

組織名(役職)	主な役割・責任
管理統括者 (理事長)	<ul style="list-style-type: none"> 計画の策定及び見直しを行う。 計画及び評価結果の公表を行う。
統括責任者 (事務局長)	<ul style="list-style-type: none"> 実行計画の推進状況を管理する。 点検の実施、推進方策の改善検討を事務局に指示する。
推進指導員 (各課長及び所属長)	<ul style="list-style-type: none"> 計画の実施状況の点検、把握及び評価 管下職員への指示
活動推進員 (推進指導員が指名した者)	<ul style="list-style-type: none"> 計画実施の推進 所属における実施状況(使用量)等を事務局に報告する。
組合職員	<ul style="list-style-type: none"> 計画に基づく地球温暖化対策の取り組みを実践する。
事務局 (総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画の推進に関する資料作成及び情報提供等 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 職員への普及・啓発・情報収集 推進会議の事務に関すること 実施状況の取りまとめに関すること </div>

組 織 名	主 な 役 割 ・ 責 任		
地球温暖化対策 実行計画推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・点検結果の評価に関すること ・計画推進方策の改善に関すること ・その他温暖化対策に関し、会議が必要と認めること 		
	組 織 構 成 員	委 員 長	事務局長
		副 委 員 長	消防長
	組 織 構 成 員	委 員 (順 不 同)	【事務局】 総務課長、環境衛生課長 【消防本部】 消防次長、総務課長、予防課長、警防課長
庶 務			事務局総務課

3 職員への周知、意識啓発

事務局は、本計画を実効性のある全部署的なものとして推進していくために、職員一人ひとりに対し、地球温暖化の現状や実行計画の内容についての周知徹底を図る。

また、環境保全活動、環境保全に関する研修会等、職員への情報提供を実施するとともに積極的な参加が図れるような職場環境づくりに努める。

このほか、各職員から実行計画推進のための改善提案、新たな取り組み事項等の提案を定期的に募集する。

4 実施状況の点検・評価

全部署の計画の取組状況に関する点検結果の評価は推進会議で行う。

また、温室効果ガス削減目標の達成状況及び問題点の検討を行い、必要に応じて計画の見直しを行う。

統括責任者は、点検の結果及び問題点にかかる是正措置等の情報を毎年度終了後3カ月以内に管理統括者に報告する。

5 実行計画の策定(変更)及び実施状況についての公表

管理統括者(理事長)は、地球温暖化対策の推進に関する法律第20条の3に基づき、実行計画の策定(変更)及び実行計画に基づく措置の実施状況を組合ホームページで公表する。

資料編

資料 1

平成23年度温室効果ガス排出に係る原因活動別活動量

部署名	燃料使用量						電気使用量
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	LPG	都市ガス	
事務局総務課	1,083					3,734m ³	22,777kwh
久寛荘						2,231m ³	33,127kwh
緑埜クリーンセンター	360		1,363				212,117kwh
岡之郷クリーンセンター	288			254,735	18kg		1,852,296kwh
岡之郷緑地	77						4,817kwh
消防本部・藤岡消防署	18,119.51		8,166.5			2,243m ³	169,878kwh
吉井消防署	6,495	1,464	2,991		1,263.2kg		28,087kwh
新町消防分署	3,536	1,503	1,550			773m ³	20,951kwh
鬼石消防分署	3,517	1,621	1,306		620.8kg		20,388kwh
奥多野消防分署	3,507	1,091	1,273		672kg		12,844kwh
上野消防出張所	3,981	941	1,423		431.2kg		14,701kwh
合計	40,964	6,620	18,073	254,735	3,005kg	8,981m ³	2,391,983kwh
部署名	自動車走行距離(ガソリン車)						
	普通・小乗用	軽乗用	小型貨物	軽貨物	特殊用途		
事務局総務課	9,235km						
久寛荘							
緑埜クリーンセンター				173km			
岡之郷クリーンセンター	4,138km						
岡之郷緑地				629km			
消防本部・藤岡消防署	8,198km	4,201km	4,634km	4,068km	74,945km		
吉井消防署					25,070km		
新町消防分署					13,027km		
鬼石消防分署					15,601km		
奥多野消防分署					22,320km		
上野消防出張所					18,552km		
合計	21,571km	4,201km	4,634km	4,870km	169,515km		
部署名	自動車走行距離(ディーゼル車)				し尿処理量	一般廃棄物 焼却量	カーエアコン 搭載車
	普通貨物	小型貨物	特殊用途	バス			
事務局総務課							2台
久寛荘							
緑埜クリーンセンター	629km		313km				3台
岡之郷クリーンセンター		85.6km	14km		33,484m ³	869t	1台
岡之郷緑地							
消防本部・藤岡消防署			23,625km	306km			20台
吉井消防署			7,377km				4台
新町消防分署			2,543km				3台
鬼石消防分署			4,941km				3台
奥多野消防分署			5,370km				3台
上野消防出張所			6,842km				3台
合計	629km	86km	51,025km	306km	33,484m ³	869t	42台

資料 2

平成23年度温室効果ガス排出量計算書

ガスの種別	原因活動量	単位	使用量・活動量	排出係数	発熱量	換算率	温室効果ガス排出量	地球温暖化係数	C O ₂ 換算後	
			(A)	(B)	(C)	(D)	(kg - CO ₂) (E)		(F)	(kg - CO ₂) (E) × (F)
C O ₂	燃料使用量	ガソリン		40,964	0.0183	34.6	44 / 12	95,036	1	95,036
		灯油		6,620	0.0185	36.7	44 / 12	16,484		16,484
		軽油		18,073	0.0187	38.2	44 / 12	47,351		47,351
		A重油		254,735	0.0189	39.1	44 / 12	690,332		690,332
		LPG	kg	3,005	0.0163	50.2	44 / 12	9,015		9,015
		都市ガス	m ³	8,981	0.0138	41.1	44 / 12	18,680		18,680
		電気使用量	kwh	2,391,983	0.555			1,327,551		1,327,551
合計							2,204,449		2,204,449	

ガスの種別	原因活動量	単位	使用量・活動量	排出係数	温室効果ガス排出量		地球温暖化係数	C O ₂ 換算後		
			(A)	(B)	(kg - CH ₄)	{(A) × (B)} (C)		(D)	(kg - CO ₂) (C) × (D)	
C H ₄	自動車の走行量	ガソリン	普通・小型乗用車	km	21,571	0.000010	0.22	7	21	147
			軽乗用車	km	4,201	0.000010	0.04			
			普通貨物車	km	0	0.000035	0.00			
			小型貨物車	km	4,634	0.000015	0.07			
			軽貨物車	km	4,870	0.000011	0.05			
			特殊用途車	km	169,515	0.000035	5.93			
		ディーゼル	普通・小型乗用車	km	0	0.000020	0.00			
			普通貨物車	km	629	0.000015	0.01			
			小型貨物車	km	86	0.0000076	0.00			
			特殊用途車	km	51,025	0.000013	0.66			
			バス	km	306	0.000017	0.01			
			し尿処理量	t	33,484	0.049				
	一般廃棄物焼却量	t	869	0.07500		65		1,365		
合計							1,713		35,973	

ガスの種別	原因活動量	単位	使用量・活動量	排出係数	温室効果ガス排出量		地球温暖化係数	C O ₂ 換算後		
			(A)	(B)	(kg - CH ₄)	{(A) × (B)} (C)		(D)	(kg - CO ₂) (C) × (D)	
N ₂ O	自動車の走行量	ガソリン	普通・小型乗用車	km	21,571	0.000029	0.63	8	310	2,480
			軽乗用車	km	4,201	0.000022	0.09			
			普通貨物車	km	0	0.000039	0.00			
			小型貨物車	km	4,634	0.000026	0.12			
			軽貨物車	km	4,870	0.000022	0.11			
			特殊用途車	km	169,515	0.000035	5.93			
		ディーゼル	普通・小型乗用車	km	0	0.000007	0.00			
			普通貨物車	km	629	0.000014	0.01			
			小型貨物車	km	86	0.000009	0.00			
			特殊用途車	km	51,025	0.000025	1.28			
			バス	km	306	0.000025	0.01			
			し尿処理量	t	33,484	0.00096				
	一般廃棄物焼却量	t	869	0.0712		62		19,220		
合計							102		31,620	

ガスの種別	原因活動量	単位	使用量・活動量	排出係数	温室効果ガス排出量		地球温暖化係数	C O ₂ 換算後	
			(A)	(B)	(kg - CH ₄)	{(A) × (B)} (C)		(D)	(kg - CO ₂) (C) × (D)
HFC	カーエアコン搭載車の台数	台	42	0.01500		1	1,300	1,300	
合計							1		1,300

温室効果ガス総排出量 (CO₂換算後) (+ + +) (kg - CO₂)

2,273,342

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合
地球温暖化対策実行計画

平成25年3月

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合
総務課 企画係

〒375-0014

群馬県藤岡市下栗須124番地6

T E L 0274-24-1621

F A X 0274-24-1622

E-メール takouai-soumu@xp.wind.jp